

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

- ・「三島村小中学校教育現場体験」

教職課程履修生を村の公立学校で受け入れ、離島における教育及び生活体験・交流等を通して三島村の教育課題の解決等に資する活動を展開し、三島村活性化の具現化を図る提案等を行っている。

- ・「学校支援ボランティア活動」

鹿児島市が未来を担う子どもたちを地域で育てる「学生支援ボランティア事業」として、広く一般人や大学生などに呼びかけて、学校支援を行うものである。学生は、近隣の小中学校に自分の空いている時間を登録しておき、要請校の要請に応じて出向き支援をする。特に教育活動の中で学習や行動に配慮を要する児童生徒の活動を支援する。

- ・「障がい児・者の福祉施設等のボランティア活動」

学生が介護等実習や福祉実習等で現場体験した施設や自分が居住する近隣の特別支援学校や社会福祉施設等の催す行事（運動会や講演会など）でスタッフ補助として運営にあたり、学生が児童・生徒をサポートするボランティア協力を行っている。

- ・「へき地の小学校での支援活動」

学生が、学外ゼミ活動として、へき地の小学校に出向き学校行事等に参加し、小規模校での複式授業の参観や学習支援などを体験して鹿児島県における平均的な教育状況を理解する機会としている。また、地域住民等との交流を深めることで過疎地域の活性化の一翼を担っている。

- ・「高校訪問・授業参観（同一学園高等学校・中学校）」

- ・「教育実習報告会」

- ・「経済学部特別プログラム<教員プログラム>」

教員を目指す学生（1年～4年）を選抜し、採用試験の問題集等をそろえた専用の自習室を利用できるようにしている。また月に1度、グループディスカッションを中心とした研修会も行っている。メンバーの中で教員採用が決定した者には所定の報奨金を与えることとして、モチベーションを高めている。

- ・鹿児島県総合教育センターとの連携

本学は鹿児島県総合教育センター（以下「センター」という）と、教育に関する諸課題及び教員の資質・向上に関する事項について、年2回連携協議会を開催している。また、本学の講義をセンター職員が担当し、教育の質向上を図っている。